

[> コア技術による社会価値創造](#)[> 信頼に応える品質の維持・向上](#)

事業

重点課題

- 1 コア技術による社会価値創造 [▶P22](#)
- 2 信頼に応える品質の維持・向上 [▶P25](#)



重点課題 1

コア技術による社会価値創造



重要と考える理由

企業は社会の公器と言われ、透明で公正な活動を通じて社会とともに発展する責任を負っています。さらに近年、グローバルレベルの社会課題が顕在化する中で、企業には社会システムやライフスタイルを変革するようなイノベーションを起こし、事業を通して社会課題の解決に貢献することが期待されています。

ニコンの姿勢

ニコンは、経営ビジョンである“Unlock the future with the power of light”に「光で未来を変える」という思いを込めています。世界の持続可能性に対する危機感が高まっており、SDGsをはじめとした社会課題の解決に向け、企業のイノベーション力が強く求められています。社会課題の解決につながる新しい価値を提供し、社会とともに発展していく。そのためにも、ニコンはこれまでカメラや露光装置で培った「光利用技術」、「精密技術」を中心とした技術力を強化し、従来の分野を超えて広く活用していきます。ニコンは、より一層豊かで安全な社会の実現をめざします。

> [コア技術による社会価値創造](#) > [信頼に応える品質の維持・向上](#)

ニコンの社会価値創造

ニコンの光利用技術と精密技術を核とした技術力で新たな価値を提供し、社会課題の解決に貢献していきます。

事業による社会への貢献

考え方・方針

ニコングループは、企業理念の「信頼と創造」のもと、長く信頼される製品・サービスを、これまで培った高い技術により創造し、社会に価値を提供してきました。

例えば、ニコンは「光利用技術」と「精密技術」をコアとした技術力で、半導体や液晶パネルの製造に欠かせない装置を提供し、情報社会の基盤を支えてきました。さらに、これらの高精度化・高精細化を実現させ、新しい技術・産業の発展にも貢献してきました。ほかにも、高い信頼性のカメラでは映像文化の発展に、高解像度やライブセルイメージングに対応した顕微鏡では1世紀近くバイオサイエンスや医療の発展に、それぞれ貢献してきました。

社会課題が多く顕在化する現代において、企業は、それらを新たな市場やビジネスチャンスと捉え、より直接的に社会課題解決につながる価値を創造していくことが必要です。

ニコンは、地球温暖化や高齢化など、さまざまな社会課題の中でコア技術が活かせる領域を検討し、2019年5月に発表した中期経営計画の中で長期成長領域として、デジタルマニュファクチャリング、ビジョンシステム/ロボット、ヘルスケアを掲げました。既存事業はもちろんのこと、これら長期成長領域により、省資源・省エネルギーな生産システムの構築や、人とロボットが共存する高度で安心な製

造現場の実現など、新たな価値を社会に提供します。これにより、SDGsへの貢献をはじめ、気候変動問題に対するパリ協定などの国際社会の動きにも対応していく考えです。

ニコングループは、これからも社会に価値ある存在であり続けるために、「光利用技術」「精密技術」を活用した製品・サービスを通じて、さまざまな産業にイノベーションを引き起こし、社会課題にソリューションをもたらします。それにより、物心ともに豊かな世界を実現する“精密・光学のリーディングカンパニー”をめざします。

事業における提供価値とSDGs



> コア技術による社会価値創造

> 信頼に応える品質の維持・向上

● 研究開発

ニコンでは、技術戦略委員会において、社会課題をマクロトレンドとして分析した上で、事業環境分析、市場の検討・評価などを行い、注力すべき新領域の開拓をしています。

現在、中期経営計画において注力するテーマに掲げている材料加工事業、および長期成長領域のひとつであるビジョンシステム/ロボットに関連する事業について、次世代プロジェクト本部とデジタルソリューションズ事業部の連携により、事業を拡大しつつあります。

また、本委員会では、既存事業の技術戦略と研究開発計画も策定しています。これらに基づき、各事業部に共通する技術や将来技術の研究開発は、研究開発本部が担っています。

● オープンイノベーション

拡大・深化する社会課題に対し、その解決につながる新しい製品・サービス開発、事業立ち上げのスピードを加速するための手段のひとつとして、ニコンでは、外部リソースを積極的に活用するオープンイノベーションを取り入れています。具体的には、コーポレートベンチャーキャピタルに取り組むとともに、プライベート・ファンドを設立してベンチャー企業に直接投資し、有望な技術やアイデアをもつベンチャー企業や従業員を支援・育成する仕組みを設けています。2021年3月期現在、22社のベンチャーおよびベンチャーキャピタルに投資支援しています。

Column

カーボンニュートラルな社会をめざして

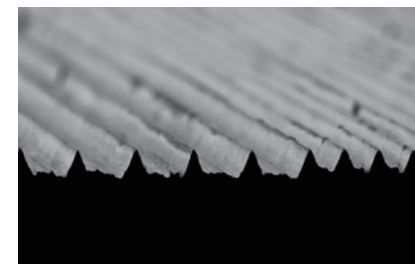
頻発する異常気象の原因の一部とされる気候変動は年々深刻化しており、その原因であるCO₂濃度の上昇を抑制することが大きな社会課題となっています。そのため、カーボンニュートラルをめざす動きが世界で加速しています。

このような課題に対応すべく、ニコングループでは、2021年1月に改定したCSR重点課題において「コア技術による社会価値創造」を掲げ、問題解決につながる新しい価値の提供をめざしています。カーボンニュートラルな社会に貢献できる技術としてニコンが事業化を進めているのが、次世代プロジェクト本部のリプレット加工技術です。リプレットとはバイオミメティクス（生物模倣）の考え方を取り入れた構造のことで、最適な形状は流体の抵抗低減をもたらす効果が確認されています。風力発電、タービン、航空機などにリプレット加工技術を適用することで、燃費効率を改善しCO₂排出量を削減することが可能となります。

具体的な取り組みとして、計算流体力学*のシミュレーション技術を保有するオーストリアのbionic surface technologies GmbHとリプレット加工の実用化に向けた共同開発研究を推し進めています。

ニコングループは今後も高い技術力によって気候変動の抑制に貢献し、経済と環境の好循環につながるイノベーションを起こしていきます。

*計算流体力学
Computational Fluid Dynamics。流体や熱などの運動、移動の数値計算に関連した学問領域。



リプレット加工(数μm～数十μm)

